

「保護地域における参加型ガバナンスおよびエコツーリズム分野における協働能力強化」に関わる第三国研修開講式 祝辞挨拶（仮訳）

2026年2月9日

JICA コスタリカ

所長 吉田憲

SINAC（コスタリカ国立保全地域システム）事務局長

ダビッド・チャバリアー様

環境・エネルギー省 副大臣 ホルヘ・マリオ・ロドリゲス・スニガ様

駐コスタリカ日本国大使館 松本勝弘様

外務・宗務省 国際協力局長 セルヒオ・ビノクール・フルニエリ様

MIDEPLAN（国家企画・経済政策省）

フアン・カルロス・フォンセカ・ロドリゲス様

駐コスタリカ・アルゼンチン大使館 二等書記官

マルティナ・グアルナスケッリ様

駐コスタリカ・ベリーズ大使館 領事

ルイス・フェルナンド・サラサール様

駐コスタリカ・ボリビア大使館 臨時代理大使

ホセ・パーシー・パレデス・コインブラ様

駐コスタリカ・パラグアイ共和国大使

フリオ・ドゥアルテ・バン・フンベック様

駐コスタリカ・ペルー共和国大使 カルロス・ハカンソン・ニエト様

駐コスタリカ・ウルグアイ大使館 行政担当官 ユリー・ラセルダ博士

アルゼンチン、ベリーズ、ボリビア、チリ、コロンビア、エクアドル、
グアテマラ、ホンジュラス、パラグアイ、ペルー、ドミニカ共和国、
ウルグアイから参加されている皆様

SINAC の職員の皆様

謹んでおはようございます。

独立行政法人国際協力機構（JICA）コスタリカ支所を代表し、本日ここに、コスタリカ国立保全地域システム（SINAC）の皆様との緊密な協力関係のもと、「保護地域における参加型ガバナンスおよびエコツーリズム分野における協働能力強化」に関わる第三国研修の開講を迎えられましたことを、心より光栄に存じます。

はじめに、本研修の企画、準備、運営にあたり、多大なるご尽力を賜りました SINAC の学術・行政関係者の皆様に対し、深甚なる敬意と感

謝の意を表します。また、本研修に強い使命感と熱意をもって参加された、各国の研修員の皆様を、心より歓迎申し上げます。

自然生態系の保全は、地球規模の課題であると同時に、人類社会の持続可能な発展を支える根幹であります。JICA はこれまで、中南米およびカリブ地域において、多岐にわたる技術協力および人材育成事業を通じ、生物多様性保全の推進に取り組んでまいりました。

本日までご参加の国々との協力の中では、アルゼンチンにおける自然保護官の育成、ホンジュラスにおける生物回廊の整備、ドミニカ共和国における地域主体型観光の推進、さらには中米統合機構（SICA）加盟国における越境生態系保全など、数多くの成果が積み重ねられております。

これらの協力の深化の一環として、今回、コスタリカ政府との緊密な連携のもと、同国が長年にわたり培ってきた保護地域管理および参加型ガバナンスの知見を、第三国に広く共有することを目的とした本研修を実施する運びとなりました。

「第三国研修」とは、日本の経験のみならず、協力相手国が自らの発展の過程で蓄積してきた知識、制度、実践を、他の国々の発展に活用する協力形態であります。本研修は、まさにコスタリカが地域および国際社会において果たしてきた先導的役割を体現するものであり、南南協力および三角協力の理念を具現化する重要な取り組みであると考えております。

また、本研修が、参加各国相互の経験と知恵を共有する、真に実り多い対話と学びの場となることを、心より期待しております。

言うまでもなく、保護地域は生物多様性の最後の砦であり、人類共通の貴重な資産であります。しかしながら、保護地域は決して社会から隔絶された存在ではなく、地域社会と共生し、その理解と参画のもとで管理されなければなりません。そのため、参加型ガバナンスおよび多様な主体による協働能力の強化は、今日的課題として極めて重要であります。

さらに、近年国際的に注目されている OMEC（地域を基盤としたその他の効果的保全手段）は、「昆明・モンリオール生物多様性枠組」における「30 by 30」目標達成の鍵を握る要素であり、本研修の意義を一層高めるものです。

また、保護地域が周辺地域社会に具体的かつ持続的な利益をもたらさなければ、真の保全は成り立ちません。その観点から、エコツーリズムは、生態系サービスを活かしつつ地域経済の発展にも寄与する、極めて重要な手段であると認識しております。

約三週間にわたる本研修期間中、皆様には、コスタリカが生物多様性保全の長い歩みの中で培ってきた成功と挑戦の双方から学びを深めていただくとともに、各国の経験を相互に共有することにより、新たな知見と連携の可能性を見出していただければと存じます。

結びに、本研修を通じて形成される人的ネットワークが、中南米・カリブ地域における保護地域管理の質的向上に長期的に寄与することを、心より願っております。また、帰国後には、本研修で得られた成果を基に具体的なアクションプランを策定し、各国の JICA 事務所と連携しながら、着実な実践へとつなげていただくことを強く期待しております。

皆様のご健勝と本研修の成功を祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

ご清聴、誠にありがとうございました。